

本業を通じた社会貢献と直接的な社会貢献活動により社会の維持と発展に貢献します。

CSRへの基本的考え

SBIグループは、社会正義に照らして正しいことを真正面から事業化し、実践している企業集団です。その根底にあるものは、儲かるかどうかではなく「私たちの社会を公正で、快適で、環境適合的で、安全なものにしたい」という信念です。

この信念のもと、SBIグループは本業を通じて社会に貢献するだけでなく、直接的な社会貢献によってもステークホルダーの要請に応え、社会の維持・発展に貢献することで「強くて尊敬される企業」を目指します。

直接的な社会貢献

公益財団法人SBI子ども希望財団について

SBI子ども希望財団は、SBIグループが培った知恵とネットワークを活用し、虐待された児童たちへの自立支援や児童福祉の充実に取り組んでいます。2010年には、内閣総理大臣から公益財団法人として認定され、2011年からは特定公益増進法人として税制面での優遇を享受しています。当財団の活動は、被虐待児童入所施設的环境向上のための寄附や児童養護施設の職員に向けた実践研修の提供、一般市民向け啓発活動など、多岐にわたっています。寄附実施金額は2015年3月期までの累計で約9億5千万円となりました。また児童虐待防止の「オレンジリボン・キャンペーン」を後援しており、毎年11月の虐待防止強化月間にはSBIグループ役職員一同、啓発活動に取り組んでいます。



最先端の医療サービスを提供する医療施設の運営

SBIウェルネスバンクでは、会員制健康管理サービスの提供を行っており、また医療法人社団T.O.P.ドクターズ東京国際クリニックの創立、運営を支援しています。東京駅直結の同院では、アンチエイジングドックなどのプレミアムな人間ドックや、最先端の医療技術による各種治療サポートなど、幅広い選択肢から最適な医療サービスを提供しています。



同院との連携により、「予防」「治療」「エイジマネジメント」の3領域からトータルなパッケージを提案し、人々のより積極的な健康管理に貢献しています。

本業を通じた社会貢献

「SRIインデックス」の算出・公表

SRI(社会的責任投資)とは、従来型の財務分析による投資基準に加え、社会・倫理面及び環境面から企業を評価・選別し、安定的な収益を目指す投資手法です。モーニングスターではSRIインデックス(モーニングスター社会的責任投資株価指数)の算出・公表を行っており、SRIの啓発と社会的責任を果たしている企業への投資環境の構築に寄与しています。

CSR活動の歩み

2002年1月

CSR活動に関する基本方針を決定

当期純利益3億円以上を計上したグループ各社は利益の1%を児童社会福祉法人へ寄附を行う。

2004年7月

寄附活動本格化

9政令指定都市、39都道府県から賛同を得て、各自治体所管の児童養護施設・乳児院等へ寄附金を謹呈。

2004年12月

SBI児童福祉有限責任中間法人設立

ストックオプションなどの寄贈を受け入れ、証券市場を活用して幅広く寄附活動を展開する日本初の試み。

2005年10月

財団法人SBI子ども希望財団設立

広く社会全体からの賛同者を募りながら、児童の自立を支援し、産業界への児童福祉の啓発を通じて、児童福祉の充実及び向上に寄与することを目的に設立。

2008年4月

SBI大学院大学開校

文部科学省より認可取得。日本及び世界の経済・社会に活力をもたらす「有為な人材」を育成するべく、互いに学び合い鍛え合う場として開校。

2010年3月

財団法人SBI子ども希望財団の

公益財団法人化

内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受け、公益財団法人へ移行。